

令和元年度 川西市立清和台幼稚園評価報告書（学校評議員会用）

川西市立清和台幼稚園

1 教育目標

教育目標「明るく たくましく 心豊かな子どもを育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子どもの視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子ども一人一人の可能性が発揮され、自己実現を図ることができる保育の創造に努める。
- 教職員の専門性を磨き、資質向上を図ることができる研修に努める。
- 家庭、地域との連携を深め、地域の子育て支援に努める。

3 幼稚園自己評価結果

○実施時期 令和元年12月11日～16日

○対象 保護者、全職員

*A そう思う B 少し思う C あまり思わない D 思わない 各問に A から D より 1 つ選んで回答した人数の合計を示している。

*園児数 29 回収数 25 保護者回収率 86%

	項 目	保護者					職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
		A	B	C	D	その他	A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	24	1	0	0	0	5	1	0	0	・項目①②③④⑤は、幼稚園生活への期待や友達関係の広がり、学びに向かう力や思考力・判断力・表現力等の基礎が身に付いてきているかを幼児の姿から実感できるか調査している。A の回答率が高いことから、研究主題「夢中になって遊びを楽しむ幼児をめざして—やってみたい！面白い！と心が動く保育の工夫—」につながる幼児の育ちは実感できていると捉えられる。 ・教師が「やってみたい」「面白そう」と感じる思いを尊重してきたことで、教師自身も面白さに敏感になり、研修が深まるきっかけとなった。
	②わが子は、幼稚園に気の合う友達がいる	20	4	0	0	1	1	5	0	0	
	③わが子は、いろいろなことに興味をもったり、不思議に感じたりしている姿が見られる	21	4	0	0	0	2	4	0	0	
	④わが子は、面白そう、やってみたいと感じ、自分なりに試したり、繰り返したりして、一緒に遊びを楽しんでいる	22	3	0	0	0	3	3	0	0	

保育内容・研究推進	⑤わが子は、友達と楽しいことを共有しようとしたり、自分の考えを伝えようとしたりして、一緒に遊びを楽しんでいる	16	7	1	0	1	3	3	0	0	・教師は「やってみたい」「面白そう」と幼児の心が動く姿を丁寧に見取り、やりたいことが実現に向かうように見守ったり、励ましたりしてきた。幼児は自分でやってみたい気持ちを言葉にし、実現に向かうために自分の力で試したり、友達と協力したりして幼児なりに遊びを楽しむ姿が多く見られるようになった。思いを言葉にし、面白そうだと感じたことを友達と一緒に生み出していくことで経験のタネが増え、次の遊びにつながっていく様子から、遊び込むことは心が動く中にある思考の循環であることをあらためて感じる事ができた。 ・神戸常盤大学教育学部学部長大森雅人先生にご指導を仰ぎ、教師の資質向上に努めてきた。遊びごとに幼児の姿や教師の援助を記録した週案から継続して遊ぶ幼児の学びを捉え、遊びの経過から見える学年の育ちや共通の学び、育ちを支える保育の工夫を確認することができた。 ・日頃から異年齢で生活を楽しむ環境を意識し、工夫したことで、園庭の遊具を活用した冒険コースごっこ遊びでは、4歳児、5歳児が一緒になって継続して楽しむ遊びとなった。4歳児は5歳児の姿に興味をもち、刺激を受けながら遊び方の幅が広がり、5歳児は4歳児の思いに寄り添いながら思いを実現するための手だてを考えたり、試したりすることができ、互いに豊かに学ぶ過程を追うことができた。 *項目⑤については他の項目と比較すると評価がやや低めであることから、重点的に取り組みを進めたい。
	⑥幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	24	1	0	0	0	6	0	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	22	3	0	0	0	2	3	1	0	・項目⑦について、今年度はホームページをプリントアウトして掲示し、毎日の登降園時には担任が保護者へ幼児の様子を伝える中で願いを込めた口頭伝達だけでなく、保育の記録写真を載せたクラスだよりなど、視覚的に幼児の育ち、保育の取り組みを伝えており、保護者にも具体的に分かりやすく安心感につながっていると考える。 ・項目⑩について、小学校との交流や給食体験会を通して、進学への期待や見通しをもち、連携を深めることができた。また、中学校と連携し、授業交流も実現することができ、幼小中の子どもの姿が共有しやすい環境となりつつある。 ・項目⑪について、地域の福祉施設交流やコミュニティ行事に参加し、地域の幼稚園としての結びつきを実感することができた。 *幼稚園の取り組みが具体的に伝わる発信方法の工夫に努めたい。
	⑧幼稚園は、保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じられるようにしている	23	2	0	0	0	5	1	0	0	
	⑨幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	24	1	0	0	0	5	1	0	0	
	⑩幼稚園は、小学校や中学校などと交流をよく行っている	24	1	0	0	0	6	0	0	0	
	⑪幼稚園は、地域コミュニティ行事への参加や福祉施設訪問などを通して地域との交流を深ようとしている	24	1	0	0	0	4	2			
環境整備・安全管理	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	24	1	0	0	0	5	1	0	0	・項目⑫について、園庭と隣接する公園を利用しながら伸び伸びと季節を感じて遊んだり、畑・花壇・プランターを子どもと一緒に活用したりして、自然を身近に感じることができるよう努めてきた。 ・項目⑭について、青少年センターや川西警察署、川西北消防署と連携して避難訓練を実施し、保護者への引き渡し訓練なども合わせて災害時の対応について安全に行動できるよう見直しを行うことができた。 *項目⑬について、毎朝、遊具周囲の猫糞を取り除き、消毒をしている。地域にも協力いただき、軽減に向かっていることを有難く思っている。
	⑬幼稚園は、施設や遊具の安全に努めている	23	2	0	0	0	4	2	0	0	
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	24	1	0	0	0	4	2	0	0	
	⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	24	1	0	0	0	5	1	0	0	

4 学校園関係者評価結果

○評価委員会開催日 令和2年2月27日

○評価委員会 学校評議員 清和台小学校長
清和台南小校区主任児童委員
民生・児童委員
前年度保護者会長
学校関係者評価委員 親子体操講師

○内容

- ・年間の取り組みについて（今年度の研究テーマより『冒険コース遊び』の様子のスライドを見て）
- ・学校評価アンケートについて
- ・今後の課題と方策について

（5名中、回答に該当しないと思われたところは空欄の方もおられ、合計数が合わない項目あり）

	項 目	評価				・評価委員会のご意見
		A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	4	0	0	0	・今年度、園で取り組んだ『冒険コース遊び』のように、少しスリルがあり、ワクワク心が動くようなことがある遊びが、考えたり、試したりすることが面白い！やってみたい！と感じて継続する幼児の姿につながるのだと思われる。小学校の勉強もこのように一歩踏み込む取り組みが必要で、心を動かして気持ちをあげていくことが大切であると思われる。『冒険コース遊び』の安全面は大前提であるが、今後も自分で安全を考え、対応できるように生きる力を育ててほしいと願っている。 ・今年度は特に異年齢交流が活発で互いに思いを出し合いながら遊びが展開されていたと思われる。人数も15名・16名でちょうどいい人数だったのではないかな。 ・年少組が進級して遊びを考えようとする時には、年長組と一緒に楽しんだ遊びの経験にプラス自分の考えを足し、考え方に広がりが見られていくと思われる。経験の積み重ねは大事なことである。
	②わが子は、幼稚園に気の合う友達がいる	2	2	0	0	
	③わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	4	0	0	0	
	④わが子は、自分の気持ちを先生や友達に伝えようとするようになってきている	4	0	0	0	
	⑤わが子は、相手の話を聞いて共感したり、相談したりしながら遊ぼうとするようになってきている	4	0	0	0	
	⑥幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	4	0	0	0	

幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やドキュメンテーション、ホームページなどで分かりやすく伝えている	5	0	0	0	・子どもの育ちが見られる時期は様々であるが、消極的でもよく考えている子や内に秘めても明るい子もいるので、内面まで踏み込んで思いに寄り添う保育を大切にしながら、取り組みを面白がり、やりたい目的に向かって遊びを進めようとした姿を今後も情報発信できればいいのではないかと思います。 ・学びに向かう力をこれからも評価していきたい。教師は、時には引っ張り、励まし、背中を押すといった関わりが必要で、子どもも信号と同じように一歩立ち止まって判断できるようにしていかなければいけない。大人の余裕力が大切である。 ・参観させていただき、子ども達の元気、笑顔、やる気に感動し、そこに家庭での親子の安定が備わり、育ちに花が咲いたと思われる。先生は太陽や水となって働き掛け、細やかさと豊かさが加わった保育に感謝しています。
	⑧幼稚園は、保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じられるようにしている	4	0	0	0	
	⑨幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	3	1	0	0	
	⑩幼稚園は、小学校や中学校などと交流をよく行っている	5	0	0	0	
	⑪幼稚園は、地域コミュニティ行事への参加や福祉施設訪問などを通して地域との交流を深ようとしている	5	0	0	0	
環境整備・安全管理	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	5	0	0	0	・園児数減少により、PTAのあり方も考えていかなければいけないと思うが、保護者が主体的にやってみたいと思える取り組みが本来出てくようになればいいと思われる。 ・先生の自己評価では、自分のところは謙虚に評価しがちになっていないか。もっと自信をもっていいと思われる。また、そのことが自分へのプレッシャーや責任にもつながる。
	⑬幼稚園は、施設や遊具の安全に努めている	4	0	0	0	
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	5	0	0	0	
	⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	4	0	0	0	

○学校関係者評価については、学校評議員会を活用し、評価委員会を行った。

○運動会、創立50周年ありがとうの会、音楽会、生活発表会などに参観していただき、幼児の姿を通して、幼稚園教育や運営について意見をうかがうことができた。

○保護者対象の評価アンケートの結果を基にして、来年度に向けた課題や方策について示唆を頂くことができた。

○地域コミュニティや学校と連携しながら、清和台幼稚園の取り組みの発信に努め、地域に根ざした幼稚園としての意義を発揮していくよう助言を受けた。